

道徳科における評価

大きくりなまとまりを踏まえた評価

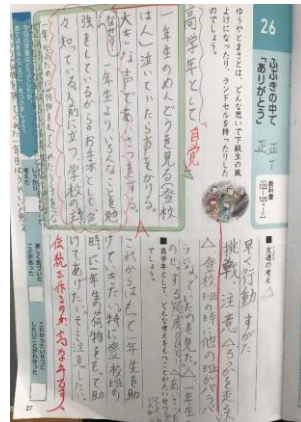


成長の軌跡・記録を残す



発言 ↓ 表情

ポートフォリオ
道徳ノート



評価の観点

- ① 一面的な見方から**多面的・多角的な見方**へと発展しているか。
- ② 道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているか。

評価のための具体的な工夫

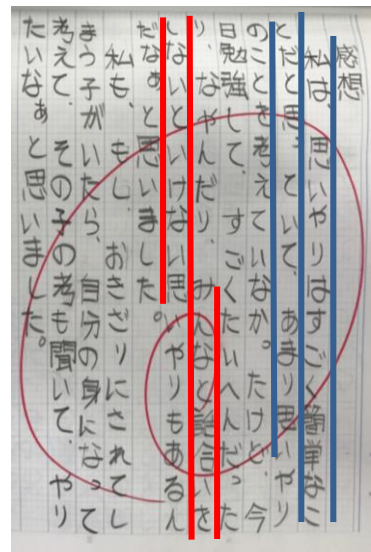
○児童生徒の感想を2つの視点で色分け

「自分自身との関わり」

「多角的・多面的な見方」

【注意！】

※必ず2つの視点が入るとは
限りません。
※毎時間毎時間成長があるとは
限りません。



具体的な評価文例

全体の大くりなまとめりで書いた評価文例

道徳の授業を通して、これまでの自分の意識や考えを広げたり深めたりすることができました。授業後の感想には何を学んだかを自分の言葉でまとめることができました。

授業の様子等も記入した評価文例

道徳の授業を通して、これまでの自分の意識や考えを広げたり深めたりすることができました。

特に「たのむよ、班長」では、班長としてまとめるにはどうしたら良いか、友達の考えを参考にしながら考えることができました。

【注意！】

文章を書くことが得意な子もいれば、書くことが苦手な子もいます。文章だけを見て評価すると、文章を書くことが得意な子は認められますが、苦手な子は認められないということになりかねません。

書かれたものだけを評価するのではなく、授業中の観察や対話の様子など、様々な面から、その子がいかに成長したかを積極的に受け止めることが大切です。

評価の具体例(小学校の例)

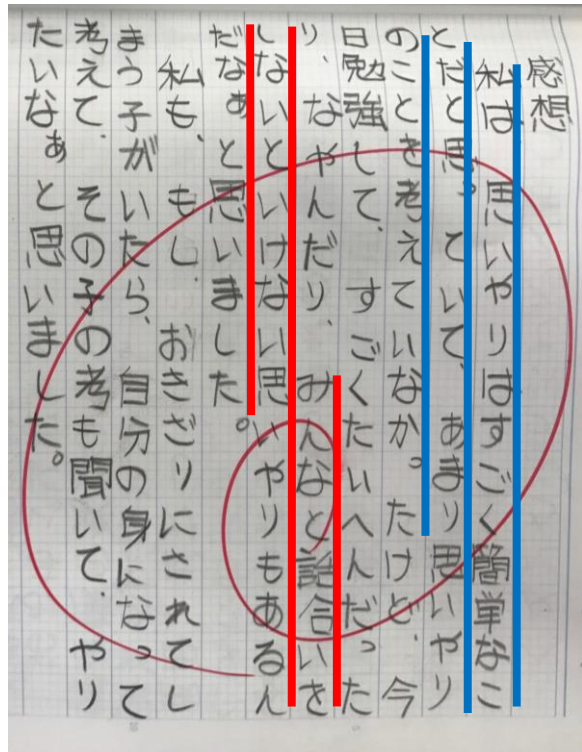
ワークシートに書かれた児童の振り返りに対して2つの視点で評価し、意図を持ってコメントを入れた。

2つの視点

- ①一方的な見方から**多面的・多角的**な見方へと発展しているか。
- ②道徳的な価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているか。

「多角的・多面的」

「自分との関わり」



それぞれの時間の見取りから、大きくりなまとまりを踏まえた評価として、児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め励ます個人内評価として、通知表の文章を考えた。

小学校 1年生の例

10月〇日 教材名:よりみち 内容項目 : A希望と勇氣

【児童の振り返り】

いえないことをいうゆうきがひつようだとおもいました。

【教師の意図】

客観的な考えなので、より自分のこととして捉えてもらいたい。

【教師のコメント】

そうだね。難しいことだけど〇〇さんだったらいえそうかな？

11月〇日 教材名:みみずくとおつきさま 内容項目 : A希望と勇氣

【児童の振り返り】

ゆうきをだすときは、いっぱいあるとおもいました。いままでできなかったことを、もう1かいゆうきをだしてやってみようとおもいます。まちがっていることにゆうきをだすのはおかしいとおもいます。

【教師の意図】

勇氣について具体的に考えられているので、本児の考えを肯定し励ましたい。

【教師のコメント】

ゆうきをだすのはステキだけど、やってはいけないこととかまちがっていることにゆうきをだすのはおかしいとかんがえたんだね。正しいことにゆうきをだしていけるといいね！

12月〇日 教材名:ぼくにできること 内容項目 : B親切、思いやり

【児童の振り返り】

しんせつにすればいろんな人がよろこんでくれるとおもったけど、やるのはちょっとはずかしいな。しんせつをどうやってするのかかわかったら、はずかしいけどやってみようとおもいます。

【教師の意図】

自分の気持ちを素直に表現しているので、そこに共感し、それでもやってみよう和前向きに考えていることを賞賛し励ましたい。

【教師のコメント】

たしかにしている人だけじゃなくていろんな人にするのははずかしいときもあるよね。でも、それでもやってみようかなとおもえたことは、ステキなことだとおもいます。がんばって！

【通知表への記述例】

授業で学んだことをワークシートに記述するとき、悩みながらも一生懸命に書こうとする姿が印象的でした。自分自身の生活と絡めて考える中で、「自分は話の登場人物のようにすることは難しいかもしれない」と素直な気持ちを書きながらも「でも頑張ってきたらいいな」と前向きに考えることができました。

小学校3年生の例

10月〇日 教材名:フィンガーボール 内容項目:B親切、思いやり

【児童の振り返り】

前、友達が授業中トイレに行きたそうにしていたのに気づいたから、そのことを先生に言ってあげたことがあります。これからも相手の気持ちを考えて、それに合った行動をしていきたいです。

自分自身との関わり

【教師の意図】

自分の生活体験と重ね合わせて教材を読むことができ、それを道徳的意欲へとつなげている。そうした「読み方」を認めてあげたい。

【教師のコメント】

友だちの気持ちになって、自然と行動している〇〇さん。それが「親切」なのでしょうね。

11月〇日 教材名:名前のない手紙 内容項目:B友情、信頼

【児童の振り返り】

私は、帰りの会で話し合うのがいいと思ったけれど、みんなでA子さんと一緒に遊ぶなど、他にもいい方法があるとわかりました。もしも自分のクラスでこういうことが起きたら、どうすればいいかよく考え、いじめにならないようにしたいです。

多面的・多角的

【教師の意図】

話し合うことで多様な考えに触れ、そのよさに気づき、また、それを生活に生かそうとしていることを評価したい。

【教師のコメント】

自分では思いつかなかった解決策を知ることができ、学びが深まりましたね。

12月〇日 教材名:うれしく思えた日から 内容項目:A個性の伸長

【児童の振り返り】

私も〇〇くんと同じで、自分のいいところなんて一つもないと思っていました。けれど、よく考えてみると一つありました。他にも友達やお母さんにいいところを教えてくださいました。これからは、もっといいところを見つけたり、今日みんなに書いてもらったいいところを大切にしていきたいです。

【教師の意図】

友達との体験活動での喜びの享受→資料の人物の気持ちへの自我関与→自分との関わりとして、道徳的実践や意欲につなげていることを認めたい。

【教師のコメント】

この授業は、〇〇さん自身や友達を見つめ直し、良さに気付くいいきっかけになりましたね。これからもっと前向きに頑張っていけそうですね！

【通知表への記述例】

授業では、自分の生活体験と重ね合わせて考えることができるようになりました。

また、友達との交流を通して、多様な考えがあることに気付いたり、その良さを素直に受け入れたりして、自分の考えを深めようとしていました。

小学校 6 年生の例

10月〇日 教材名：ブランコ乗りとピエロ 内容項目：B相互理解、寛容

【児童の振り返り】

今までの私は、何かイライラしたりムカムカしていたらすぐに口に出していました。それに、許せることも少なかったと思います。だから、今日の授業を受けてもサムの逆ギレにすぐむかつきました。でも、これからは、すぐに口に出さないで相手の気持ちを考えて口に出したいと思います。

【教師の意図】

授業での気づきを自分のこととして考えていることを評価したい。

【教師のコメント】

相手の気持ちを考え、自分がどんな言葉をかければ良いか考えることができましたね。

11月〇日 教材名：絵地図の思い出 内容項目：B友情、信頼

【児童の振り返り】

この授業をする前の私は仲の良い友達しか話せなくて、友だちづくりはとても苦手でした。だから、人が話しかけるまで待っていた。でも、今日の授業をして、勇気を出して声をかけることは大切だと思ったので、これからは勇気を出して声をかけたいと思う。

【教師の意図】

最初の自分の考えと、授業での新たな気づきにより考えが変容したことを認め励ましたい。

【教師のコメント】

「勇気」を出して行動することが友だちとのより良い関係を築くことにつながる、ということに気づくことができましたね。

12月〇日 教材名：いちよう祭り 内容項目：C愛校心

【児童の振り返り】

今日は「愛校心」について学んだ。今まで愛校心について一度も考えたことはなかった。でも、今日の授業をして学校にはたくさん学んだり助けられたりしたと思う。私の一番思い出に残っているのは体育館だ。理由は、入学式や退任式など学校でしか味わうことができないことを学んだからだ。なので、体育館に関わることで学校に感謝したい。

【教師の意図】

授業での新しい気づきを具体的な行動で表そうとしていることを賞賛し励ましたい。

【教師のコメント】

学校に対する見方が変わりましたね。感謝の気持ちを持つことの大切さに気づき、行動しようとしていることが素晴らしいと思います。

【通知表への記述例】

道徳の授業を通して、これまでの自分の意識や考えを広げたり深めたりすることができました。授業後の感想には、何を学んだのかを自分の言葉でまとめることができています。

学習指導要領解説特別の教科道徳編より

(3) 評価のための具体的な工夫

道徳科における学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握するに当たっては、児童が学習活動を通じて多面的・多角的な見方へ発展させていることや、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めていることを見取るための様々な工夫が必要である。

例えば、児童の学習の過程や成果などの記録を計画的にファイルに蓄積したものや児童が道徳性を養っていく過程での児童自身のエピソードを累積したものを評価に活用すること、作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど具体的な学習の過程を通じて児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握することが考えられる。

また、児童が行う自己評価や相互評価について、これら自体は児童の学習活動であり、教師が行う評価活動ではないが、児童が自身のよい点や可能性に気付くことを通じ、主体的に学ぶ意欲を高めることなど、学習の在り方を改善していくことに役立つものであり、これらを効果的に活用し学習活動を深めていくことも重要である。発達段階に応じて、年度当初に自らの課題や目標を捉えるための学習を行ったり、年度途中や年度末に自分自身を振り返る学習を工夫したりすることも考えられる。

「小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」P.112

「中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」P.114

評価方法の工夫 1

学期末などに、**道徳振り返りワークシート**を活用して、評価する

1、2学期の道徳授業で心に残っている授業はなんですか？

題名 (「ガン」をどうする？)

自分の考え

「ガン」の授業で、僕は、認め合い合うことがおもしろかった。
年上の人がやっていること、マデマ、ひると思、ていたけれど、人それぞれ
違う考えを持っているから、子どもたちの意見も合っているんだなと思いました。

題名 (ほんとうのこぼれ)

自分の考え

「ガン」自由とかわれど、好きなことを選んでしまおうけれど、やるといふ所までと、
や、ちや、
こぼれが心に残っていると思ひます。

1、2学期の道徳授業の感想を書きましょう。

感想

・どうとらの授業は、生活するためにするためにやることだと思いました。
僕は、人の意見に流されやすいので、「自分を守る力」
という授業を、とてためにやりました。判断力は思いやり
にもつて、とていこと、とてどうとらの授業は、ために
やりました。

【通知表 文章】

授業では、いつも自分の考えを悩みながらも一生懸命にまとめている姿が多く見られました。

特に「自分を守る力」を考える授業では、普段人の意見に流されやすい自分を振り返り、判断力について深く考えていました。

評価方法の工夫2

学期末などに、道徳振り返りアンケートを活用して、評価する

1・2学期の道徳を振り返ろう！

	そう思う	思わない
① 道徳の授業は、楽しかったですか。	4 ③	2 1
② 道徳の授業では、発言や発表ができましたか。	4 3	② 1
③ 友達の見聞を聞いて、よいところを見つけられましたか。	④ 3	2 1
④ 「自分ならどうするか」と、いっしょうけんめい考えましたか。	④ 3	2 1
⑤ 心に残った授業ベスト3を選ぼう		

No1

番号 26	題名 新次のしょうぎ
理由	いままで、自分は、不正を何度もしたことがあるけど、このしょうぎょうで、自分はひどい人だなということに気づき、今の自分を見直せたからです。

No2

番号 25	題名 花さき山
理由	このお言葉で、やさしいことをすれば「花がさく」ということを知って、自分が人にいいことをして、花さき山に、たくさんのお花をさかせた方がいいなと思ったからです。

No3

番号 19	題名 いじりといじめ
理由	このしょうぎょうで、いじりといじめのひどさが分かったし、いじめもひどいけど、いじりも人をいやな気持ちにさせるので、やめようと思ったからです。



【通知表 文章】

人の意見をよく聞き、多様な意見を参考にしながら、自分ならどうするかと一生懸命に考えていました。

特に、「新次のしょうぎ」の授業では、自分の過ちに気づくことができ、正直に行動できるように自分の行動を見直そうという記述が見られました。

評価方法の工夫3 (中学校)

各授業の振り返りを1枚のシートに記入させ、2つの視点で色分けする

2つの視点

一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか【赤線】

道徳的な価値の理解を「自分自身との関わり」の中で考えられたか【青線】

◎「先生からの一言」の記入について

【生徒に向けて】

- 生徒が自分の感じ方や考え方の傾向を知る
「自己理解」の材料
- 生徒が自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけ
- 生徒の成長を受け止め、**認め、励ます**言葉かけ

【他の先生&担任に向けて】

- 生徒の感じ方や考え方の傾向を伝える材料
「この子、自分との関わりで考えられるよ」
「この子、他者の視点から考えるのが苦手だよ」
- 生徒の授業での様子や感想への記述で見取れた、**特筆すべき顕著な成長や変化を共有する**
「この子、今日の話し合いをまとめたよ」
「この子、初めてこんなこと表現できたよ」

認める

満足できる気づきや考え方への到達を褒め、自信を与える

励ます

気づかせたい視点や近づかせたい姿へ導く

<中学校の振り返り>

挑戦する勇気をもつことの難しさを自分事として考えている

挑戦を成し遂げるために関わってきた多くの人々の立場で考えている

例1

道徳 ふりかえりシート 2学期 NO. 2

内容	自己評価	ふりかえり	先生から一言
22 回	友達の意見や様々な視点から考えられたか A・B・C・D	答えがでるか 成りするか分からないものでも、 <u>努力し続けることに意味がある</u> と思った。誰かできない	続けたことに意味があるんだね、これ
23 回	自分との関わりで考えられたか A・B・C・D	ことに挑戦するのは勇気がとてもいることで <u>それを成し遂げる</u> ために <u>関わる人にも勇気が必要</u> だと思った。私も新しいことに挑戦する、道徳を取り組むと思う。	周りの人達もすごいね

他の意見や教師の講話から、多面的・多角的な見方になり、自分の生き方についての考え方を広めている

真の自由について、その反対の「制限」や自分との関連の中で考えている

例2

26 回	友達の意見や様々な視点から考えられたか A・B・C・D	「真の自由とは...」(と考えると)制限の中で「 <u>いかに自分を</u> 」 <u>出せるか</u> が大切だと思った。 <u>制限があるから</u>	制限か考えを中、 発想も広げたのかわ!
27 回	自分との関わりで考えられたか A・B・C・D	「 <u>多くの視点で見られ、発想・生活も豊かになる</u> 」 と思った。// <u>早い先生の筆で自由は</u> その通りだと思ってる。私もプラス思考で...と	深々...

【通知表 文章】

うなずきながら友達の考えを聴き、道徳的価値について様々な視点から考える姿が見られました。

特に、「真の自由とは」を資料として扱った授業では、真の「自由」について、その反対の意味をもつ「制限」と関連させて考えるなど、広い視野から考えることができました。